

YOSHIBUE

Vol. 30



N o r e f u s a l p o l i c y

断らない救急医療



救急医療の最後の砦

救命救急センターは近江八幡市だけではなく東近江医療圏や近隣住民の命を守る最後の砦として日々、急病や外傷などの重症患者の集中医療を担っています。当センターには日本救急医学会救急専門医が3名、救急看護認定看護師が3名、集中ケア認定看護師が1名勤務しており、重症・緊急度の高い患者様へより専門的な医療・看護を提供できるように取り組んでおります。

対応できる疾患は

急性心筋梗塞などの急性心疾患、くも膜下出血などの脳卒中、交通事故などの高エネルギー外傷など極めて緊急性の高い救急疾患を中心として診療しております。最近では日本だけではなく世界中に多大な被害をもたらしている新型コロナウイルス感染症や感染が疑われる患者の初期対応も救命救急センターが最前線で行っております。

救命救急センターの使命とは

重症患者の救命に全力を尽くすため、「No refusal policy」(断らない)をかげ、救急車を絶対に断らない救急医療を目指しています。そのため軽症の患者様には対応がすぐ出来ない場合があることをご容赦ください。直接救急外来にいられた患者様には看護師が血圧・脈・体温・呼吸数を測定し緊急度判定(トリアージ)を実施し、重症者を見逃さないようにしております。

今後の展望

救命救急センターは市民の皆様への理解のもと運営ができております。いわゆるコンビニ受診や救急車の不適切利用を控えていただく様に啓発活動や救急医療・蘇生方法を市民公開講座でお伝えしていきたいと思っております。これからも当センターの職員と市民の皆様が一緒になって救急医療を学べる機会を作っていきたいと思っております。



外見だけではわからない内部の異常を確認するためCT撮影を行います。わずかな異常も見落としてはなりません。



救急隊から患者搬送依頼の電話が入ります。どのような症状なのか詳細を確認し、受け入れの準備に取り掛かります。



すぐに検査ができ、放射線被曝がないため安全性が高い超音波エコーで異常がないか確認しています。



呼吸状態を確認し酸素マスクを装着させています。万が一の急変時に備え、現場は非常に緊迫しています。

救急外来患者数 **17,428 人/年**

救急車受入数 **5,483 台/年**

救急応需率 **99.7 %/年**

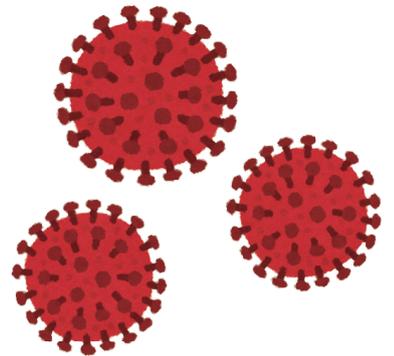
※令和元年度実績

新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症とは？

新型コロナウイルスはコロナウイルスのひとつです。人に感染するコロナウイルスとしては現在7種類分かっており、一般的な風邪を引き起こすウイルスや重症急性呼吸器症候群（SARS）ウイルスや中東呼吸器症候群（MERS）ウイルスがあります。昨年12月に発生が確認され、現在は世界中に感染が広がっています。

主な症状は発熱、咳、体がだるいなどで他には頭痛や下痢、嗅覚障害（においが分からない）、味覚障害（味が分からない）などが起こります。重篤な肺炎にかかり亡くられる方もおられます。



どうやって感染するの？

感染経路は一般的に飛沫（ひまつ）感染と接触感染です。飛沫感染は感染している人の飛沫（咳やくしゃみ、つばなど）と一緒にウイルスが排出され、他の人がそのウイルスを口や鼻などから直接吸い込んで感染します。接触感染はウイルスがついている所を他の人が触り、その手で口や鼻や眼を触ると粘膜から感染します。傷のない皮膚からは感染しません。

検査はPCR検査や抗原検査がありますが、検査結果が陽性となる確率は6～7割と言われており、結果が陰性であっても感染していないとは言い切れません。

治療・予防方法は？

有効とされる治療薬やワクチンがまだありません。そのため、予防としては手洗いをしっかり行うこととマスクなどの防護具を装着すること、くしゃみや咳は必ずティッシュやハンカチで覆うこと（咳エチケット）が重要です。症状がなくても感染している人もおられ、その人から感染が広がる恐れがあるとされています。また、症状が出る前からウイルスを排出している可能性も指摘されています。発熱や咳などの症状があるときは仕事へ行ったり外出したりせず自宅で安静に過ごしましょう。人混みを避けたり、換気もしっかり行いましょう。ウイルスに触れたからといって必ず感染するわけではありません。過労を避け十分に睡眠をとることや栄養と休養を十分にとることも大切です。

手洗いの、5つのタイミング

公共の場所から
帰った時



咳やくしゃみ、
鼻をかんだ時



ご飯を食べる時



前と後！

病気の人の
ケアをした時



外にあるものに
触った時



世界中に多大な被害をもたらしている新型コロナウイルスですが、当院ではその初期対応に救命救急センターの医師、看護師など多くのスタッフが最前線で対応を行っておりますが、万全の感染対策を行うことでクラスター発生を起こさないように注意を払っています。

🦽🦽 車椅子を寄贈いただきました! 🦽🦽



近江八幡市立看護専門学校は、昭和49年4月に設立された近江八幡市立高等看護学院を前身に、平成元年4月、現在の近江八幡市立看護専門学校として新築移転され、これまで市内外の医療施設に卒業生を輩出することで地域医療に貢献してきました。

しかし、近年医療情勢の変化に伴い看護基礎教育の重要性から看護師養成においても4年制大学への志向が強くなっており、受験者数の減少から学生確保も難しく、また、施設の老朽化も重なり平成28年に閉校が決定し、令和2年3月の卒業式を最後に長き歴史に幕を下ろしました。

今回、閉校に伴い実習病院としてこれまで学生・学校を支えてくださった、近江八幡市立総合医療センターへ**高機能車椅子**1台を同窓会より寄贈させていただきます。患者様のリハビリ等にご活用頂ければ幸いです。

近江八幡市立看護専門学校
同窓会 会長 加藤 守

こんにちは 赤ちゃん

当院で産まれた赤ちゃんを紹介します!

けいすけ
景介くん



2020年5月6日生まれ/2966g

ママからひとこと
元気に生まれてくれて
ありがとう!
家族みんなで
楽しく過ごそうね!

もな
萌奈ちゃん



2020年5月18日生まれ/2653g

ママからひとこと
パパとママのところに
来てくれてありがとう!
たくさんいろんな
景色見ようね!

●保護者の方から掲載希望をいただいた赤ちゃんを掲載しております。

連携医療機関のご紹介



近江八幡市立総合医療センターでは、病院や開業医の先生方との協力・連携のもと、それぞれの医療機関が充分にその役目を果たし、住民の方が安心して生活を送れるよう地域全体の医療水準の向上に努めるとともに、地域完結型医療の実現を目指しています。

弓削メディカルクリニック

院長 雨森 正記

診療科：内科、小児科、家庭医療、総合診療

蒲生郡竜王町弓削1825 TEL:0748-57-1141

受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○
16:30~18:30	○	○	○		○	



竜王町に参りまして32年目になりました。外来診察、在宅医療、医療者の教育に力を入れています。また滋賀家庭医療学センターは、家庭医療・総合診療の普及を通して滋賀県の地域医療、僻地医療に貢献しています。

たに整形外科

院長 谷 仁孝

診療科：整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科

近江八幡市中村町654 TEL:0748-33-1610

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
16:30~19:00	○	○	○		○	



中村町で開院して15年が経ちます。地域の方々、近隣の病院や開業の先生方に支え、助けられてまいりました。平成25年から通所リハビリ施設を開設いたしました。患者様にくつろいでいただける空間作りを目指しています。

感覚矯正科が取り組む職場環境の改善

～視能訓練士4人から3人体制に変わって～



視能訓練士とは

視能訓練士は眼科専門の検査員です。視力検査をしている人と聞くとなじみがあると思います。視力検査以外にも視野検査や眼球運動検査、機器を使った画像検査など目に関するさまざまな検査を行っています。また検査だけではなく小児の視力の発達などを目的とした斜視弱視訓練や見えにくい方にルーペなどを使用し、より良い生活を目指すロービジョンケア、点眼指導や糖尿病教室なども行っています。今回そんな視能訓練士が4人から3人体制へ変わることで患者様を長く待たせる心配や患者様1人1人に丁寧な対応が提供できるかなどの心配がありました。その問題を解決するために取り組んだ内容を2つご紹介します。



まず一つは、検査時の移動にかかる時間の短縮を図りました。それには患者様とスタッフ両者にとって安全で効率的な検査動線作りが必要と考えました。眼科の検査環境の特徴は機器での検査が多く、検査毎に機器が変わるため患者様自身の移動が必要になり、しかも短い時間に立ち座り動作を繰り返し行わなければなりません。また高齢者の方や見えにくい方が多いので移動には介助が必要となります。そのため移動と介助がしやすいように通り幅を広くする事や検査件数や種類で機器をかためるなどの配置換えを行い、移動の負担を最小限にする事に取り組みました。



そしてもう一つ取り組んだことが、検査時に座る患者様用の椅子です。高さ5cmのチェアベースの椅子からフラットな丸ベースの椅子に替えることにしました。その結果、躓きや足が引っかかる患者様はいなくなり、安心して検査ができるようになりました。

この2つの取り組みの成果で検査時の移動時間の短縮につながり、患者様1人1人にしっかりと向き合える検査を提供できるようになったと感じています。受診される患者様に最良の医療を提供できるよう工夫と改善に取り組んでいきます。



チェアベースの高さがあり躓く原因になっていた。丸ベースになり躓くところがなくなった

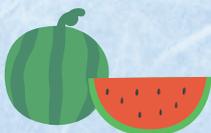
～免疫力を高めて夏を乗り切る～ 夏野菜のサラダうどん

人が健康に生きていくためには、糖質、たんぱく質、脂質などの栄養素をバランスよくとり入れることが大切です。暑くなり、食事を冷やしうどんや冷やしそうめん（糖質に偏る）だけで済ます方もおられると思いますが、良質なたんぱく質（卵・肉・魚・乳製品や大豆製品等）や野菜をプラスすること、果物を添えることにより、食事を豊かにしてくれます。免疫機能がおとろえ細菌やウイルスが侵入し、病気や様々な症状が起こらないためにもバランスの良い食事、適度な運動、休息、十分な睡眠をとることも大切です。



うどん(冷凍)	...	200g(1玉)
鶏ささみ	...	35g
卵	...	25g(1/2個)
トマト	...	50g(中1/3個)
キュウリ	...	30g(1/3本)
オクラ	...	20g(2本)
ホールコーン(缶)	...	15g
レタス	...	20g
麺つゆ(2倍濃縮)	...	60g
		つゆ20g+水40g

- ①鍋に水から卵を入れ、転がしながら沸騰から9分ゆで水にさらす。冷めたら殻をむき半分に切る。
- ②オクラはヘタの近くの筋が入った部分(ガク)を切り落とし、表面を塩でこすりそのままお湯の沸いた鍋に入れ2分ほど茹でる。茹で上がったら冷水で冷まし水気を切り5mm幅に切る。
- ③トマトを洗い、ヘタをとってくし形に切る。キュウリは洗って千切りにし、しぼっておく。レタスは洗って手で食べやすい大きさにしておく。
- ④ホールコーンはザルで水気を切っておく。
- ⑤沸騰した鍋に鶏ささみを入れボイルする。冷めたら手で食べやすい大きさに裂いておく。(市販のサラダ用チキンを使用してもOK)
- ⑥沸騰した鍋に冷凍うどんを入れ火を通してからザルに上げ、冷水で冷まし、水気を切る。
- ⑦器にうどんを盛り、他の具材を盛りつける。麺つゆはお好みに合わせ量を調節する。



近江八幡市立総合医療センター

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町 1379 番地

TEL 0748-33-3151 FAX 0748-33-4877